



# 光れ 横西っ子

令和3年度 第10号 2月18日

発行者 引地 健二

※ HPではカラーでご覧になれます。

## 令和3年度も残りわずかです・・・

1月27日、栃木県内にも「まん延防止等重点措置」が適用され、行事の変更や縮小、クラブ活動や委員会活動などの異学年交流の自粛、短縮日課の実施など、様々な影響が出てきています。2月9日（水）予定していましたが今年度最後の授業参観及び学級懇談会も中止となり、大変ご迷惑をおかけしました。子供たちの安心・安全を最優先した措置ですので、ご了承ください。



〈大縄週間、がんばってます！〉

さて、本年度も残り約1か月となりました。6年生は、卒業（3/17）そして中学校進学が、1～5年生も修了（3/24）・進級が近付き、気ぜわしさを感じる時期に入ってきています。



学校ではこの後、「6年生を送る会」や登校班の引継ぎ、学習のまとめなど、学年末の行事や1年間の仕上げの活動が続きます。子供たちは一つ一つの行事・活動を通して、今の学年を振り返り、そして、新しい学年に向かって歩みを進めていきます。コロナ禍の影響はまだまだ続くと思いますが、基本的な感染予防対策を継続し、子供たちの安心・安全を確保していきたいと思っておりますので、ご家庭での健康管理につきましても、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

### 避難訓練 1月18日(火)

#### 学校に竜巻が・・・さあ、どうすれば？



〈1年生の避難の様子〉



〈6年生の避難の様子〉

今年度3回目の避難訓練。竜巻を想定して訓練を実施しました。事前に竜巻が近づいたときの避難のポイントを各クラスで学習し、その後訓練を行いました。事前練習の成果もあり、どのクラスもスムーズに避難行動をとることができました。最後に私の方から竜巻が来たときのポイント、①教室では、窓とカーテンを閉めること、②窓から離れ、頭を守り、姿勢を低くし動かないようにすること（だんごむしのポーズ）、③校庭にいたときは、教室に入り、①②を実施すること、④登下校のときは、近くのコンクリートなどの丈夫な建物に避難すること、⑤電柱や大きな木には近づかないこと、などを伝えて終了しました。また、12月1日の真岡市での強風を例にして、関東平野は竜巻や突風が多く、危険な地域であることも付け加えました。大切なのは、「大人と一緒にではない場合も、自分で考えて身を守る」ということ。今回の訓練で学習したことを生かし、ぜひ自分一人でも身を守れるよう、意識を高めてほしいと思います。

## 中学校ってこんなところ

小中一貫・地域学校園の取組です！

### ◆今年度も進学先中学校訪問を形を変えて実施しました！！

市内の小学校6年生を対象に、毎年1月に実施している進学先の中学校訪問。例年、陽南中学校を訪問し、中学校の授業や部活動の様子を見たり、説明を聞いたりしてきましたが、今年もコロナ禍ということで、昨年度に引き続き、訪問ではなく、陽南中学校の生徒が作成したDVDを見るという形をとりました。映像を通して、中学校生活を理解し、中学校に対する期待やモチベーションが高まった子も多かったようです。



### ★ DVDを視聴した6年生の感想 ★

- 部活動の映像が印象に残りました。どの部に入るか楽しみになってきました。
- 授業で書いている黒板の字が多いのに驚きました。自分も書けるのか心配になりました。
- 制服を着るのが楽しみ。スカートもスラックスもあって、選べるからいいと思いました。



# 令和4年の学校の動き！

ここが変わります！！

## ★1 体育館にエアコンが導入されます！！

児童や教職員の健康を守るとともに、学習意欲や集中力を低下させることなく学べる教育環境を確保することを目的に、来年度、小学校全69校の体育館に空調設備が設置されます。現在の予定では、春から設置工事を開始し、8月下旬に工事完了となっています。おそらく稼働は夏休み以降になると思われますが、熱中症対策として大いに効果が期待できそうです。



## ★2 A日課の下校時刻が15分早くなります！！

来年度から月～木曜日の日課を若干変更いたします。朝の学習の時間や業間、清掃の時間を5分ずつ短くし、下校を15分早めます。5時間授業の日は15:00、6時間授業の日は16:00下校となりますので、よろしくお願いいたします。(B日課の金曜日は変更ありません。)

【理由】少しでも下校を早くすることにより、教職員の残業時間を減らし、気持ちに余裕をもって子供たちに明るく元気に接するためです。今年度の本校の担任等の平均残業時間は1日あたり2.7時間となっており、1か月に換算すると50時間以上の残業時間となります。世間では「働き方改革」と声高に叫ばれていますが、教職員はさまざまな教育改革で仕事大幅に増え、その対応に時間を要しています。子供たちにゆとりをもって笑顔で接することができるよう、小さな改革ではありますが進めていこうと考えておりますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

## ★3 教科担任制を段階的に取り入れていきます(高学年)！！

小学校でも  
教科ごとの担任に



報道等でご存知の方もいらっしゃると思いますが、専門性の高い教科指導を通じて、教育のさらなる質的向上を図るとともに、学校における働き方改革を実現することを目的に、文部科学省では小学校高学年における教科担任制を段階的に導入することとしています。概要は、以下のとおりです。

◆想定してる教科 「外国語」「理科」「算数」「体育」

◆教科担任制のメリット

◎授業の質の向上、学習内容の理解度・定着度の向上 ◎多面的な児童理解

◎小・中学校間の円滑な接続(中1ギャップの解消) ◎教師の負担軽減(働き方改革) など

市内では、今年度新設校のゆいの杜小学校で教科担任制の実証実験を行っており、先日、成果と課題を検証する研修会を行いました。次年度も実験対象校をさらに拡大し、実証を続けるとともに段階的に導入を進めることになっています。

本校でも、一部担当を入れ替えるなどして今年度実施してきましたが、次年度も校内体制を勘案しながら、実情に応じて可能な範囲で教科担任制を推進していく予定です。

## 「いのちの授業」(5年生)

1月31日(月)

先月31日に5年生は「いのちの授業」を実施しました。本来であれば、体育館で対面で行う予定でしたが、感染拡大防止のためオンラインの実施となりました。浄土宗浄心寺住職の佐藤雅彦様が講師を務めました。佐藤先生は、ご自身が幼少期から命にかかわる病気を経験され「生」と「死」について考える時期を過ごしました。住職となってからも多くの人々の相談を受けながら大学の講師もされている方です。授業では、そのような経験を基に「いただきますの意味」「いのちのバトン」「死」などについて子供たちに分かりやすくお話をされました。子供たちは、人間としての在り方や生き方について考えるよい機会になったのではないかと思います。



### ★ 子供たちの感想 ★

- 命は、一人でも欠けたら自分は生まれないので、大切だなと思った。
- 命はとても大切だと思ったし、ちゃんと生きないとなあと思った。ごはんを食べるのも大切だと思った。先生の話はすごい。
- 「いただきます」の意味が分かった。今をどう生きるかが大切なことなんだと思った。

